

湯滝ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林

希少-35

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	13.18ha
設定年	1985(S60)年
保護林の概要 (設定目的)	高齢級のミズナラが生育する原生林に準ずる森林で、学術上、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、高齢級のミズナラが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2007年、2012年、2017年、2023年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ミズナラの大径木が見られる林分において調査プロットを計2か所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	保護対象種のミズナラはシカの被害やナラ枯れ被害を受けることなく健全に生育している。 保護林は2001年に設置された防護柵内にあるが、シカの影響は徐々に高まっていると考えられるため、引き続き、シカ被害の状況に注意してモニタリングしていく必要がある。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。